令和5年度　シラバス（2年建築施工）

科目名	単位数	標準単位数	対象学科・コース・類型・系列	対象学年・組	必修・選択	使用する教科書
建築施工	2	2～6	建築設備科建築デザインコース	2年3組	必修	実教出版「建築施工」

特記事項	
科目目標	(1)　建築物の施工について安全性や環境への配慮を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。【知識及び技術】 (2)　建築物の施工に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。【思考力・判断力・表現力】 (3)　安全で安心な建築物を施工する力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	建築施工に関する基礎的な知識や技能を習得をもとに、建築に関わる諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。	建築施工に関する基礎的な知識や技能の習得をもとに、建築物の設計や施工をするときに生じる諸問題の解決を目指して自ら思考し、判断し創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。	建築施工に関する設計や施工に関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。

年間指導計画表

月	予定時数	実施時数	学習項目	学習内容（教科書）	評価の観点 知	評価の観点 思	評価の観点 態	評価規準・評価方法 知識・技術	評価規準・評価方法 思考・判断・表現	評価規準・評価方法 主体的に取り組む態度	備考
4	6		第1章　建築施工のあらまし 1　建築施工にたずさわる人々	・建築生産に関する建築主・設計者・工事監理者・施工者の役割などについて指導する。 ・施工に関する技術者の資格や技能士の仕事内容が理解できるように指導する。 ・建築工事の工程について、準備から施工までの一連の流れを理解できるように指導する。 ・建築物の完成のみだけではなく、設備工事、各種検査、保全、解体工事、各種の施工を関連する項目が含まれることを理解できるように指導する。	○	○		・建築施工にたずさわる人々に関する基礎的知識と技術を学習するとともに、建築の工事現場の技術者・技能者の仕事内容を理解し、建築工事の工程の意義や役割を理解している。	・建築施工にたずさわる人々に関する基礎的な知識と技術をもとに、建築の工事現場におけるさまざまな技術者・技能者の仕事内容を考え、建築施工での役割と位置づけを判断できる力を身につけている。	・建築施工にたずさわる人々に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、さまざまな技術者技能者の仕事内容の把握に意欲的に取り組むとともに、今後の学習に向けて粘り強く取り組もうとしている。	
			2　建築工事の流れ （1. 工事の準備から 3. 躯体の工事）		○						
					○						
			2　建築工事の流れ （4. 仕上げの工事から 8. 解体工事）		○	○					
					○	○					
5 6 7	20		第2章　工事の準備 1　地盤と敷地の調査・確認	・建築物を施工するうえでも重要な事項であることを確認させ、調査の種類・方法について理解できるように指導する。	○	○		・工事の準備に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築敷地の調査、測量の方法の意義や役割を理解している。	・工事の準備に関する基礎的な知識と技術をもとに、敷地調査、測量方法を思考するとともに、実際に活用するときに適切に判断ができる能力を身につけている。	・工事の準備の基礎的な知識と技術について関心をもち、建築敷地の調査、測量の方法の習得に向けて意欲的に取り組み活用しようとする態度を身につけている。	
			2　仮設工事	・仮設工事の重要性を理解させ、仮設計画や仮設物について学習させ、理解できるように指導する。	○		○	・仮設工事も関する基礎的な知識と技術を身につけ、仮設工事の必要性と各種の方法の意義・役割を理解している。	・仮設工事の基礎的な知識と技術をもとに、必要性と各種の方法を考えるとともに、活用する際に正しい判断ができる能力を身につけている。	・仮設工事の基礎的な知識と技術について関心をもち、必要性と各種の方法の習得に向けて意欲的に取り組もうとしている。	
			第3章　地面から下の工事－土工事および杭・地業工事－ 1　土工事および杭・地業工事の流れ	・土工事・地業工事の流れの違いを理解できるように指導する。	○		○	・地面から下の工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、土工事および杭・地業工事の意義や役割を理解している。	・地面から下の工事に関する知識と技術をもとに、土工事および杭・地業工事を活用する際に適切な判断ができるように身につけている。	・地面から下の工事について関心をもち、土工事および杭・地業工事の概要の習得に向けて意欲的に取り組もうとしている。	
			2　土工事・山留め	・土工事の種類と各種山留め工法の特徴および排水溝法について学習し、理解できるように指導する。	○	○	○	・土工事に関する知識を身につけ、山留工法についての意義や役割を理解している。	・土工事に関する基礎的な知識と技術をもとに、山留工法について考え、適切な判断ができる能力を身につけている。	・土工事に関する知識と技術について関心をもち、山留め工法について意欲的に取り組もうとしている。	
			3　杭工事	・各種の杭地業の特質を確認し、上部構造と地層からどの杭地業が適しているか学習し、理解できるように指導する。	○	○	○	・杭工事の工法について意義や役割を理解している。	・杭工事に関する各種の杭工法などの知識・技能を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することが身についている。	・杭工事に関する基礎的な知識や技能に関心を持ち、これらの工法の習得に向けて粘り強く取り組もうとしている	
			4　地業工事	・地業工事の種類と特徴について指導する。安全に建築物を支持するための地盤改良について理解できるよう指導する。	○	○	○	・地業工事に関する基礎的な知識・技能を身につけ工法を理解している。	・地業工事に関する地盤改良の必要性と各種の工法について、適切な判断が出来る能力を身につけている。	・地業工事に関する知識・技能について関心をもち、地盤改良の必要性と工法の習得に向けて意欲的に取り組もうとしている。	

月	予定時数	実施時数	学習項目	学習内容(教科書)	評価の観点			評価規準・評価方法			備考
					知	思	態	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
9 10 11 12 1	35		第4章　木構造の工事 1　基礎	・木構造で主として用いられるべた基礎・布基礎についての工法を指導する。	○	○	○	・木構造の基礎に関する基礎的な知識・技術を身につけ、基礎工事の工法の意義や役割を理解している。	・基礎工事の工法を考え、活用し、表現できる能力を身につけている。	・基礎に関する基礎的な知識・技術について関心をもち、基礎工事の工法の習得に向けて意欲的に取り組もうとしている	
			2　在来工法の骨組 (1. 材料の準備から4. 建入れ直し)	・伝統軸組工法が基礎となっている在来工法について、材料の準備から建方について学習し、その骨組の完成にいたるまでの過程について理解できるように指導する。	○	○	○	・在来工法の骨組工事に関する基礎的な知識・技術を習得するとともに、その工法を活用し、表現出来る能力を身につけている。	・在来工法の骨組工事に関する基礎的な知識や技術をもとに、その工法を活用する判断ができる能力を身につけている。	・骨組工事に関心をもち、その工法の習得に向けて意欲的に取り組もうとしている。	
			2　在来工法の骨組 (5. 斜材の取付けから8. 下地の取付け)	・建方の修正方法、斜材の取付け方、接合金物の種類とその使用箇所について理解させ指導する。	○	○	○				
			3　枠組壁工法の躯体	・枠組壁工法について、材料の準備から組立てについて学習し、その躯体の完成にいたるまでの過程について理解させ指導する。	○	○	○	・枠組壁工法の躯体工事に関する知識と技術を身につけ、その工法の意義や役割を理解している。	・枠組壁工法の躯体工事に関する基礎的な知識と技術をもとに、その工法について、適切な判断ができる能力を身につけている。	・枠組壁工法の躯体工事に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、その工法の習得に向けて意欲的に取り組もうとしている。	
			4　外部仕上げ	・各仕上げの工法を理解させるとともに、屋根・外壁・床などの断熱工法について指導する。	○	○	○	・仕上工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、内部・外部仕上げの工法の意義や役割を理解している。	・仕上工事に関する基礎的な知識と技術をもとに、内部・外部仕上げの工法を考えるとともに適切に判断できる力を身につけている。	・仕上工事に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、内部・外部仕上げの工法の習得に向けて意欲的に取り組もうとしている。	
2 3	9		5　内部仕上げ	・内部仕上げについての工法を理解させるように指導を行う。	○	○	○				
計	70										